

第54回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2014年11月24日(月) 11:00-16:30 学会センタービル会議室

2 参加者

矢島ミ、渡邊、畠山、瀧上、宮嶋、小尾、小林、阿部(オブザーバー)

3 前回議事録の確認

原案通りに承認された

4 中教審・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○中教審関連

・11/20文科大臣から、学習指導要領改訂の諮問が行われたが、その内容について概要を確認した。

○理数系学会・他研究団体等

・10/26、理数系学会シンポジウムが行われた。約90人の参加があり、理数系教育を考える上で、様々な団体と連携を図ってゆく良き機会になったことが報告された。

・11/9、サイエンスアゴラにてシンポジウム「高校で学ぶべき科学とは? 一次期学習指導要領に望むもの」が行われた。教育課程の理想と現実の乖離が指摘されると共に、どのような人を創りたいのか、何を身につけさせるかを再構築すべきであるという意見があったことが報告された。

・11/16、理数教育研究所主催のシンポジウム「小中高の理科カリキュラムを考える」が開催され、小学校2年生から理科を学ぶこと、高校は基礎科目を4科目必修にすべきであるという主張がなされたことが報告された。

○教育検討委員会関連の報告事項

・10/23、次年度連合大会に際し「Future Earth構想と地学教育および地理教育をとの連携を考える」の提案を行ったが、パブリックセッションとして採択されたことが報告された。

・10/24の理事会にて、地学基礎の開講状況と実施上の課題に関するweb上でのアンケート調査を行うことが承認されたことが報告された。

○その他

・学術会議小委員会(科学と社会委員会・科学力増進分科会 高校理科教育検討小委員会)の現在の進捗状況について、必修総合理科と基礎科目の全科目履修の2つの方式に絞って議論が行われていることが報告された。

・第7回日本地学オリンピックの参加募集状況について、昨年を上回る2296名の申込があったことが報告された。

5 協議

(1) 次年度連合大会、パブリックセッション提案について

講演の主題である①Future EarthやESD教育の視点、②地理基礎について、③地学基礎の総括及び改善提案の内容について共通理解を図った。講演者の依頼について、①のFuture Earth関連については瀧上委員、②の地理系については宮嶋委員が、①のESD教育の視点については畠山委員がユネスコの関係者と連絡を取ることを確認した。また、③については小林委員及び小尾委員が講演を行うことを決定した。

①、②、③の各主題から各々2本の講演を行うことを確認した。また、これらとは別に、産業界から教育への要請として、10/26の理数系学会シンポジウムの講演者に講演を依頼することとし、折衝を畠山委員が行うことを確認した。

(2) 地学基礎の総括について (連合会員アンケート)

アンケート文案について、詳細な検討を行った。アンケート実施を1月中旬から2月下旬にかけて行い、アンケート調査結果は、連合大会でのパブリックセッションにて報告・分析することを確認した。

(3) 地団研よりの要望書について

地団研より出された要望書について、連合理事会に直接提出してもらおうよう要請することを決定した。なお、要望書の内容・文言について支援を行うことを確認した。

(4) 今後の各WGの検討方向性について

教科調査官からの情報などを総合的に勘案して、今後はA案に絞って、検討を行うことを確認した。

6 次回小委員会

12月から1月の間に行うべく、各委員の都合をメールで調整することを確認した。次回には、地学基礎を教えている委員は、実践上の問題点や課題を報告し、そうでない委員は、理想的な地学の基礎科目内容をレポートすることを決定した。